

【概要】

新潟大学医歯学総合病院看護部では、電子カルテの他、デジタルナースコールやスマートフォン導入等、実践場面を中心に ICT の活用が増えている。しかし、会議や研修会等の資料は紙媒体で行う等 ICT 化は進んでいなかった。教育プログラムが充実する中で教育研修に関わる資料作りや集計等の事務作業量は増加し、検討の時間が十分に確保できない等の不満や負担感が生じていた。そのため教育研修業務において ICT 導入を推進し、業務の効率化と標準化を進めていく必要があると考え、事務作業量の多いアンケート業務から着手することとした。ICT 導入の環境整備として、病院内にある職員用 WiFi の使用許諾と研修等に必要な PC 等の器材の準備、アンケート機能を有する学習支援ツールの選択を行った。また、学習支援ツールを活用する人材の育成として、教育支援に関わる看護職員を対象に、情報セキュリティポリシーの講義と演習型の研修を企画・実施した。学習支援ツールの活用が円滑に進むようアンケート機能についてマニュアルを整理した。今回は一部の新人看護職員研修に対しタブレット PC を用いたアンケート調査・集計について試行的に導入し、その結果、研修アンケート作成や集計に関する業務量の削減ができた。次年度は新人看護職員研修にタブレット PC を用いたアンケート調査を導入する予定である。今後は学習支援ツールの新人看護職員以外の教育研修への拡大と教育研修業務以外の ICT 活用の展開が課題である。

【背景】

新潟大学医歯学総合病院では、職員用の WiFi の環境が整備され 2017 年度から病院会議はクラウドサービスを取り入れるなど ICT 化が進んでいる。看護部でも電子カルテの他、デジタルナースコールやスマートフォン導入等、実践場面を中心に ICT の活用が増えている。しかし、ICT を推進するための環境の整備や使用する媒体の準備が進まず、会議や研修会等の資料は紙媒体で行うなど看護部内での ICT 化は進んでいなかった。なかでも、教育研修に関わる資料作り、研修効果の検証のためのアンケートの作成や集計等の事務作業量は増加しており、そのため検討時間が確保困難な状況になることから不満や業務負担感が生じていた。社会情勢として業務の効率化に向け ICT 化が進む中で、看護師業務においても ICT 導入を推進し、業務の効率化と標準化を進めていく必要があると考えた。

そこで、病院の ICT 環境を活用し、情報セキュリティポリシーに則り教育研修業務のアンケート調査を ICT 化することに取り組んだ。

【実践計画】

1. 安定した WiFi 環境の整備
 - 1) 安定した WiFi 環境の選択と使用許可を申請する
 - 2) ICT に必要な機器の見積もりと予算を確保し、必要な物品を整備する
2. 教育研修業務に学習支援ツールを活用する看護師の育成
 - 1) 学習支援ツールに関する学習を企画・実施する
 - 2) 学習支援ツールに関する相談窓口を提示する
3. アンケート機能を有する学習支援ツールの導入と手順の整理
 - 1) アンケート機能を有する学習支援ツールの選択と導入
 - 2) 学習支援ツールのマニュアルの作成
4. ICT 導入による研修アンケートに関する業務時間の変化

1) 教育研修業務の効率化について、導入前後のアンケート業務に関する所要時間の変化を確認する

【結果】

1. 安定した WiFi 環境の整備

ICT 導入のための WiFi 環境の整備に関しては、新潟大学情報基盤センター（以下情報基盤センター）と病院施設内の WiFi 環境を使用するためのセキュリティポリシーについて確認した。病院総務課に病院施設内の WiFi 使用の許諾を取り、看護部が WiFi を使用できる環境を整えた。試行調査において、アクセスの集中により繋がりにくい実態があり、情報基盤センターに助言を得て、病院事務部と相談の上予備ルーターを整備し、安定したネットワーク環境を整えた。機器購入予算については、看護部管理室内で検討し経費を確保した。使用機器については複数の候補から管理面と運用面を考慮し、タブレット端末を選定し購入した。購入したタブレット端末の管理体制は、使用頻度が多いと予想された新人研修を担当する教育部門とした。

2. 教育研修業務に学習支援ツールを活用する看護師の育成

ICT を活用する看護職員の教育支援として、情報基盤センター職員による研修を企画し、情報リテラシー教育、システムの概要と学習支援ツールのアンケート機能の使用方法についての演習型研修を実施した。研修は、教育に関連する部署のスタッフ、認定・専門看護師を優先的に受講対象とし 14 名が受講した。看護職員研修の中で研修数の多い新人看護職員研修を対象に ICT 導入を試行することとし、新人担当看護師 3 名が学習支援ツールを用いたアンケート作成・集計を行った。運用するなかで不明な点や不具合に関しては業務担当副看護部長が窓口となり情報基盤センターと連絡を取り対応した。

3. アンケート機能を有する学習支援ツールの導入と手順の整理

情報基盤センターと検討しアンケート機能を持つ学習支援ツールを決定した。教育研修に ICT を用いたアンケート調査の導入に関しては、看護部長会議を通し周知した。新人担当看護師が、ツールを用いた新人看護職員研修のアンケート作成を行い、70 名の新人看護職員に対し 3 つの研修においてタブレットによるアンケート調査を実施し、次年度の新人看護職員研修で活用する準備が整った。学習支援ツールの利用マニュアルについては、運用する中で新人担当看護師とブラッシュアップし完成させた。

4. ICT 導入による研修アンケートに関する業務時間の変化

新人担当看護師 3 名からの聞き取り調査において、ICT を導入した後のアンケート作成時間は、初回 15～30 分かかるが、一度作成した項目の流用等複数回作業を体験することで 15 分以内の作成が可能であった。アンケート集計時間に関しては、紙媒体では所要時間約 120 分であったが、ICT 導入により 3 分であった。今回の試行的導入による教育研修業務のアンケート業務の削減時間は 1 研修あたり 102 分であった。また、新人担当看護師からは、アンケート調査の負担が軽減されたとの意見があった。

【評価及び今後の課題】

病院施設の ICT 環境の活用と情報セキュリティポリシーに則り ICT を活用できる看護師の育成により教育研修業務に ICT が導入できた。また、導入した学習支援ツールのマニュアル整理により業務が標準化された。今回は一部の新人看護職員研修に対しタブレット PC を用いたアンケート調査・集計について試行的に導入した。ICT 導入後の教育研修業務の事務的作業時間の削減と導入推進に関わった看護師の負担軽減の意見より、教育研修業務への ICT 導入は業務の効率化につながったと評価する。次年度の看護職員研修のなかで約 30 の新人看護職員研修において、年間 3570 分の事務作業時間の削減が見込まれる。今後、学習支援ツールの新人看護職員以外の教育研修へ拡充と教育研修業務以外の ICT 活用の展開、また ICT を推進するうえでの情報セキュリティや情報リテラシー教育を充実させることが課題である。